

## 人権ビデオ・DVD <香美町・香美人教>

令和6年2月1日

番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度	主な 人権課題
8	ひとみ輝くとき	子どもの世界で起こっているいじめや虐待を大人が自分のこととして考えるとともに、子どもがいじめについて加害者、被害者、観衆・傍観者、仲裁者それぞれの立場で考え話しあえる作品。	35	DVD	H20 (2008)	子ども
3	こころに咲く花 H19 兵庫県人権啓発ビデオ	学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ、セクハラが人権侵害として大きな社会問題となっている。いじめは他人事ではなく、傍観者であることを含め「私」「自分」の問題である。このドラマでは、いじめの構造の中で多数を占める傍観者、観衆たちが一歩を踏み出して、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかける。そして、自らの内面に潜む「いじめの心」を克服し、お互いを認め合い、支え合って誰もが幸せに生きる社会を目指す心がかかる。	35	DVD	H19 (2007)	子ども/ 職場
5	クリームパン H22 兵庫県人権啓発ビデオ	派遣切にあい失業中の青年が、様々な人との交流を通して「いのちのきずな」に気づいていくドラマ。児童虐待の問題もとりいれながら、互いの人権を尊重することが、生きることの素晴らしさにつながることを訴えていく。	36	DVD	H22 (2010)	子ども/ 人権全般
23	君が、いるから H30 兵庫県人権啓発ビデオ	母親からの心理的虐待に悩む若者が主人公。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い主人公も、コンビニエンスストア舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていく。そこで出会う人々とのふれあいを通して、新たな価値観に気がつく。	33	DVD	H30 (2018)	子ども/ 若者
20	あした咲く H29 兵庫県人権啓発ビデオ	この作品には、生き方の異なる姉妹が登場する。独身で会社員の妹と専業主婦の姉。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えている。姉妹での対立や、父との対話、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づいていく。	36	DVD	H29 (2017)	女性/ 人権全般

番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度	主な 人権課題
29	カラコエの花	とある高校2年生のクラス。ある日唐突に『LGBTについて』の授業が行われた。しかし他のクラスではその授業は行われておらず、生徒たちに疑念が生じる。「うちのクラスにLGBTの人がいるんじゃないか？」生徒らの日常に波紋が広がっていき… 思春期ならではの心の葛藤が起こした行動とは…？	39	DVD	H28 (2016)	LGBT
32	バースデイ R4 兵庫県人権啓発ビデオ	主人公・美由紀は、娘だと思ってきた笑花(尊)から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺します。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくとします。	37	DVD	R4 (2022)	LGBT
16	ここから歩き始める H27 兵庫県人権啓発ビデオ	「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えている。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材となっている。	34	DVD	H27 (2015)	高齢者
19	風の匂い H28 兵庫県人権啓発ビデオ	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公。歩には知的障害があるが、子どもの頃は「大切な友だち」だった。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。 二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る人が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ。	34	DVD	H28 (2016)	障がいの ある人
22	聾の形	将也のクラスに転校してきた硝子は聴覚障害者であり、筆談を通じてみんなと仲良くなることを希望する。しかし、同級生たちはストレスを感じ、いじめの標的とするようになる。 現代の子どものリアルな表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを自然に考えることのできる優れた物語。	30	DVD	H27 (2015)	障がいの ある人

番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度	主な 人権課題
6	大地の母 きくゑ	差別を乗り越え、人々の温かい心に支えられながら生き抜いてきたきくゑ。生活苦から考え出されたうどん作りが、思わぬところで地域社会の役立つこととなる。80歳を過ぎた今でも、きくゑの地域交流活動はとどまることを知らない。	32	DVD	H24 (2012)	同和問題
12	シリーズ映像でみる人権の歴史 第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」	このDVDでは、「河原者は差別を受けていたにもかかわらず偉大な芸術家になった」という事実を丁寧に描いている。また、世界に誇る文化遺産は、差別された人々と差別することなく正しく評価した人たちによって築かれたことを、銀閣寺観音殿二階からの貴重な夜景映像などを通して、共に学びあう教材となっている。	16	DVD	H26 (2014)	同和問題
13	同和問題 ①～過去からの証言、未来への提言～ (人権教育・啓発担当者向け) ②未来に向けて (一般向け)	①人権教育・啓発に携わる職員や担当者の皆様が身に付けておくべき、同和問題に関する基本的な知識、歴史的経緯、そして問題の本質について、学識経験者や行政担当者、当事者のインタビューを軸に解説している。 ②ドラマ。奈々子と公平は、結婚を前提に交際している。ある日、奈々子は両親に公平を紹介する。…奈々子は、なぜ身元調査をする必要があるのか、なぜ同和地区出身だと結婚してはいけないのか、両親に詰め寄る。	①61 ②19	DVD	H26 (2014)	同和問題
14	あなたに伝えたいこと H26 兵庫県人権啓発ビデオ	この物語の主人公は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などとの関わりから、同和問題が身近な問題であることを知る。ネット上の情報に左右されることなく人とふれあい、お互いを正しく知ることが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝える。	36	DVD	H26 (2014)	同和問題
15	シリーズ映像でみる人権の歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々	このDVDでは、中世に始まったすべての身分が、居住地や税制、戸籍などで固定され、江戸時代に「制度化」されたことを新しい図式を掲示して分かりやすく解説するとともに、それを乗り越えて生きてきた人々の姿を明らかにしている。	15	DVD	H26 (2014)	同和問題
18	シリーズ映像でみる人権の歴史 第3巻 近代医学の基礎を築いた人々	江戸時代中期、医学の分野では山脇東洋が日本初の医学解剖を行い、17年後杉田玄白は、『ターヘル・アナトミア』を手に入れた。そのとき実際に臓器を解剖したのは、差別されてきた人々だった。このDVDでは貴重な原書を取材し、近代医学の発展に貢献した人々の姿をいきいきと描いている。	17	DVD	H27 (2015)	同和問題

番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度	主な 人権課題
21	シリーズ映像でみる人権の歴史 第5巻 渋染一揆を闘いぬいた人々	江戸時代末期、岡山藩では、庶民に出した儉約令を徹底するため、被差別身分の人々に、「柄のない渋染か藍染以外の着物の着用を許さない」という厳しい御触れを出した。あからさまなこの「分け隔て」の「差別」を認めるわけにはいかないと藩内53ヶ村の人々は、のちに「渋染一揆」と呼ばれる大規模な抵抗運動を起こした。1,500名もの人々が、整然とした闘いで「特別の(別段)御触書き」を取り消させた。	18	DVD	H29 (2017)	同和問題
27	シリーズ映像でみる人権の歴史 第8巻 ひとと皮革(かわ)の歴史	ひとは、生き物の命を奪い、食べなければ生きていけません。しかし、米づくりが盛んになると、宗教の影響により、動物の命を奪うことを残酷、穢れているとする考えが日本に広まり始めました。肉の仕事などに関わる人を差別してきた背景には、こうした考えがあり、やがて、そこから部落差別が生まれるのでした。それでも、動物の命が、人々の生活の周りから消えることはありませんでした。動物の肉や皮はもちろん、皮から作られる「ニカワ」は、筆、墨、家具、医薬品、武具から仏像の接着にいたるまで、人々の生活と密接に関わり、「ひと」の文化を発展させてきたのです。「死は穢れている」という差別につながる考えさえも、ほかならぬニカワでできた墨の文字や絵の助けを借りて社会に広がっていききました。このDVDは、皮革製品の製造過程を取材した貴重な映像を通して、部落差別の愚かさや「いのち」の大切さを考えさせる教材。	19	DVD	R2 (2020)	同和問題
33	大切なひと R5 兵庫県人権啓発ビデオ	大学生の愛依は友人・大哉が投稿サイトにアップする動画をいつも楽しみにしていた。ある日愛依は、大哉の動画がバズったと聞く。だがその動画は、過激な編集で被差別部落を取り上げたものだった。	34	DVD	R5 (2023)	同和問題/ インターネットによる 人権侵害
2	夕映えのみち H18 兵庫県人権啓発ビデオ	もしわが子がインターネットで他者の人権を侵してしまったら。逆にわが子が被害者になり、いじめにあったら。あるいは学校や地域で同じ事件が起きたら…「あなたならどうしますか？」を問いかけるドラマ。	38	VHS	H18 (2006)	インター ネットによる 人権侵害
1	私の好きなまち H17 兵庫県人権啓発ビデオ	東京から兵庫県に引っ越してきた家族。22年ぶりに故郷に戻った父と東京生まれの母娘。そこに根っからの地元の間人である祖母や、父の幼馴染みが加わって「異文化&多世代」の対立や交流が生まれる。	35	VHS	H17 (2005)	人権全般

番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度	主な 人権課題
4	親愛なるあなたへ H20 兵庫県人権啓発ビデオ	定年を前に最愛の妻をなくし、失意の中にあった主人公が、それまで無関心であった地域の人との関りの中で生き方を変えようとする。家族を始め、身近な人々に関心を持つことが、人が人として大切にされる地域づくりの出発点であることを気づかせる。一人一人の『気づき』こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながる。温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかける作品。	37	DVD	H20 (2008)	人権全般
7	桃香の自由帳 「共生社会と人権」 H23 兵庫県人権啓発ビデオ	家族形態の変化や一人暮らし世帯の増加が進む中、人々の地域などへの意識や関わり方が大きく変わり、互いにふれあい、支えあうことが少なくなっている。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人とが寄り添い共に生きる温かな世界とは何かについて語りかける。	36	DVD	H23 (2011)	人権全般
9	ほんとの空 H24 兵庫県人権啓発ビデオ	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これらに共通する根っこの部分は、誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」である。すべての人権課題を自分に関わることとしてとらえ、日常の行動につなげていくようにと訴える。	36	DVD	H24 (2012)	人権全般
10	ヒーロー H25 兵庫県人権啓発ビデオ	「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、何ができるのかを提起する。「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考える。	34	DVD	H25 (2013)	人権全般
11	よっちゃんの不思議なクレヨン	おばあちゃんから不思議なクレヨンもらったよっちゃん。そのクレヨンで絵を書くたびに描いたものがとびだしてくる。心のやさしいよっちゃんは絵に描いた果物を、ほしがる小鳥や動物達に与える。自分のほしいものを全部動物達に取られ、悲しくなったよっちゃんは、最後に残った黒と白と茶色のクレヨンで描いたものは・・・	22	DVD アニメ	H16 (2004)	人権全般
17	ココロ屋	先生に「心を入れ替えなさい」と叱られたヒロキの前に現れたのは、いろいろな心に取り替えてくれる「ココロ屋」だった。心をテーマに自分とは何かを考えさせる、道徳教材・人権教材として好適のアニメーション。	25	DVD アニメ	H27 (2015)	人権全般



番号	タイトル	内容（概略）	時間 (分)	備考	作品 年度	主な 人権課題
24	アルプスの少女 ハイジ 長編アニメーション映画	ヨハンナ・スピリの原作『アルプスの少女ハイジ』を長編アニメーション化したもので、物語構成は松木功、脚本は吉田義昭、大川久男、佐々木守の共同執筆、演出は高畑勲、撮影はトランスアーツがそれぞれ担当している。	107	DVD アニメ	S54 (1979)	人権全般
26	アゲハが飛んだ	作品に描かれる学童疎開の様子や軍楽隊の行進、燈火管制の状況、焼夷弾の説明など、教材として取り上げたい要素もふんだんに盛り込んでおり、戦争を真摯に受け止め、記憶に刻み次の世代に引き継ぐための教材。	20	DVD アニメ	R1 (2019)	人権全般
28	カンパニュラの夢 R2 兵庫県人権啓発ビデオ	急速に高齢化が進む今、8050問題(主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が、地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題)は誰にでも起こりうることと認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマ。	36	DVD	R2 (2020)	人権全般
31	夕焼け R3 兵庫県人権啓発ビデオ	主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、小学校時代の担任であり、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描いています。	35	DVD	R3 (2021)	人権全般
25	サラーマット ～あなたの言葉で～ R1 兵庫県人権啓発ビデオ	主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。そして、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描いている。	36	DVD	R1 (2019)	異文化 共生

問い合わせ: 香美町教育委員会 香住区生涯学習センター(香住区中央公民館内)

TEL 36-3764 FAX 36-3568